

令和3年度  
防災実践力向上等支援事業報告会

亶理町鹿島区自主防災会

令和4年2月25日

地区：亶理町鹿島区自主防災会 会長、役員の皆様  
亶理中学校様  
応援自治体：亶理町総務部安全推進班様  
アドバイザー：NPO法人防災士会みやぎ 高橋健一

活動テーマ：学校など地域関係機関との連携強化

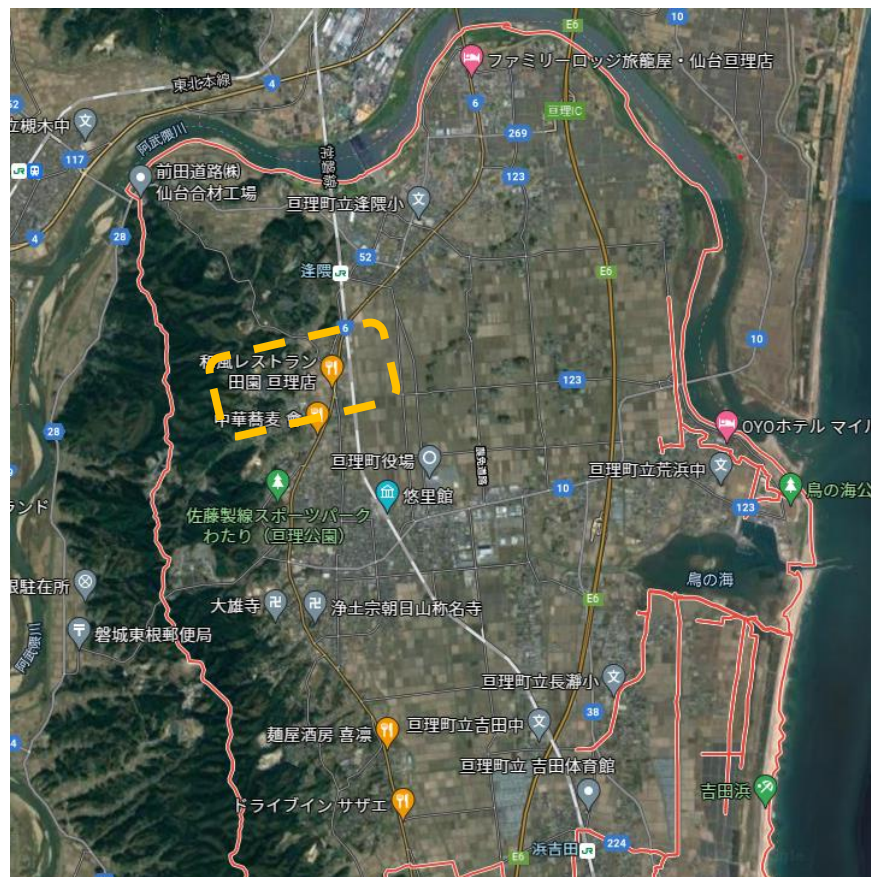
市町村の担当部署：巨理町総務課安全推進班

支援対象団体：巨理町鹿島区自主防災会

世帯数：486世帯

### 対象地区の状況

巨理駅の北側西部に位置し、砂礫質台地で平坦な地域が多い。平坦な地域には、居住地域と水田が広がっているが、津波浸水区域や洪水浸水区域に指定されていない。また、西側の山間部の一部に土石流危険区域を含む地域がある。



# 現状

- ・ 町総合防災訓練等において、中学校と連携し、中学生も活躍する防災訓練を実施しており、地区内での役割意識が芽生えてきている。

# 課題

- ・ 自主防災組織としての防災対応に、学校教育等における「防災教育」との連携が深まることで、持続的な地域防災力の向上を見込むことができる。
- ・ 中学生等を受け入れ活用するにあたり、自主防災組織としての能力向上が求められる。

# 活動の方向性

- ・ 宮城県防災指導員養成講座の受講も想定し、亘理中学校の防災教育と連携しながら、中学生「個人」の知識・理解等深める活動をしていきたい。
- ・ 受け入れる「地域」として、どのようなコミュニケーションを進めていくことが必要となるのか、中学生を含めた自主防災組織のあり方をどのように再構築できるか。

# 当初の年間計画

- ・ 1回目 支援内容と支援地区概要打ち合わせ
- ・ 2回目 亘理中学校との協議に向けて打ち合わせ
- ・ 3回目 亘理中学校との協議
- ・ 4回目 亘理町総合防災訓練に向けての打ち合わせ
- ・ 5回目 亘理町総合防災訓練実施(9月5日)
- ・ 6回目 防災訓練を終えて中学生の活動の課題・改善点
- ・ 7回目 中学生を地区でより活かすための今後の活動の進め方の検討・実践

# 活動の実績・予定

- ・ 1回目(6月) 支援内容と支援地区概要打ち合わせ
- ・ 2回目(6月) 亘理中学校との協議に向けて打ち合わせ
- ・ 3回目(8月) 亘理中学校との協議

コロナ禍のため、亘理町総合防災訓練の中止

中学生を含めた活動ができなくなったため、  
女川原発の避難訓練実施の見学等に切り替える

- ・ 4回目(2月12日) 女川原発避難訓練の見学並びに意見交換会

コロナ禍のために、中学生の活動・見学、地域の参加の中止

- ・ 5回目(3月) 全国で中学生を取り込んだ活動の事例を紹介し、中学生をどのように取り入れていくか検討し、次年度の活動に繋げる。

# 各活動の内容

## 1 回目(6月2日) 支援内容と支援地区概要打ち合わせ

参加者：鹿島区役員、子供会中学部保護者代表、宮城県、亘理町、アドバイザー  
計8名

### ▪ 鹿島区の現状説明

- 亘理町総合防災訓練では、中学生が受付や児童生徒の把握、炊き出しの補助、地区の各避難所との連絡係として活動している。
- 中学生を地域防災に活用する場合、「どこまでさせてよいか」という課題感があり、被災地での最前線に立たせることは、心身両面でのリスクを考えると避けるべきことで、役割分担を考えるうえで十分に考慮すべき観点である。

### ▪ 課題

- 学校の「防災教育」の内容を知る手立てがない。
- 中学生が地域でどのように活動しているかなどを学校と共有する機会がない。

### ▪ 要望

- 学校が持っている情報・基準・考え方などの共有の場が欲しい。
- 中学生の力を「独居高齢者などの避難時要支援者等の早期避難決心」に繋げていくために必要なスキルやコミュニケーション能力を共通の課題として学校と共有していきたい。

# 活動の内容

## 2回目(6月30日) 学校と協議したい内容の整理

参加者：鹿島区役員、宮城県、亶理町、アドバイザー 計6名

### 学校との連携協力が必要不可欠

- ・学校での防災教育について知りたい。
- ・現在の地域での活躍を学校とも共有したい。
- ・学校での防災教育を実践する場として地域を活用していただく。
- ・学校の防災教育において、生徒自身にどのような姿になってほしいと思っているのか確認したい。
- ・地域としては中学生を「いざという時に計算できる戦力」として考えており、将来的な地域づくりにも資するものと期待している。
- ・中学生にはコミュニケーション能力や他者を配慮する力を身につけてもらいたい。
- ・学校と地域の情報共有の場を設定してもらいたい。
- ・県が実施している他の事業と連携して活動を展開していきたい。

# 活動の内容

## 3回目(8月6日) 亘理中学校との協議

参加者：鹿島地区役員、学校教員(教頭、防災主任)、宮城県、亘理町、アドバイザー 計7名

- ・ 学校より本年度の防災教育(活動)についての説明
- ・ 亘理町総合防災訓練について学校での取り組み説明
- ・ 避難訓練では、名簿作成などを中学生に任せているが、中学生の数が多いので全員分の役割分担ができない。
- ・ 指示をして中学生に活動してもらっているが、ケガをした場合どのように保証されているのか不安である。
- ・ 亘理町総合防災訓練後、担当教師と区長との打ち合わせの機会が欲しい。
- ・ 中学生の活動の場が十分設定されていない地区もある。
- ・ 地区での取り組みを知らせる機会を設定し、それを基にできるところから取り組んでいただければ亘理町全体の防災力向上の一助になる。





# 活動の内容

## 4回目(2月12日)

### 女川原発避難訓練の見学並びに意見交換会

参加者：鹿島区役員、アドバイザー

- ・ 見学前に見学に際しての観点を表示
- ・ 見学終了後に地区役員による感想・意見交換
- ・ 次回のまとめについての説明を予定

※コロナ禍のために、

○中学生による活動・見学は中止となる

○地域の参加も中止

# 活動の内容(予定)

## 5回目(3月26日予定)

- ・ まとめとして、今年度できたこと、できなかったことの確認
- ・ 全国で中学生が地域と共に活動した事例の紹介
- ・ 次年度以降の取り組みについて

# 亘理町の講評

亘理町総務課安全推進班 主事 遠藤匡範

## ●事業によって見込まれる効果

- ・ より多面的な“評価”と“意欲”へのアプローチ
- ・ 地域⇔学校間の『風通しの良い環境』の醸成

## ●事業の効果を生み出すためのポイント

- ・ 地域が元から持っている意識，状況等の整理
- ・ アドバイザー自身の特性（職歴など）

# 最後に

担当アドバイザー：高橋健一

テーマが「学校など地域関係機関との連携」であったが、コロナ禍により、町や学校の行事が中止となり、現実的に中学生を巻き込んだ活動を実施することができずに終了してしまいました。

ただ、これまでの話し合いや活動は有意義であり、コロナが収まり、日常の生活に戻った時には、これらの経験をもとに実践に移していただきたいと思います。

鹿島地区の活動が、亘理町の各地区での活動の手本として広がっていき、亘理町全体の防災力・地域力が高まっていくことを願っております。